

バイオマス利活用施設の概要

作成日：平成 20 年 3 月 17 日

作成者：(株) 廃棄物工学研究所

	【施設名称】 大洋興産株式会社大和事業所第一牧場
	【事業主体】 株式会社タクマ
	【所在地】 広島県三原市 TEL/FAX：0847-34-0435
	【運転開始年】 平成 14 年（2002 年）
原材料	豚糞尿
生産物（種類）	発電・熱利用
利用方法	発電：所内利用（施設内使用電力の 2 割） 発熱：発酵槽の加温、保温（設定温度 33 度） 消化液：水処理後河川放流 残さ：肥料
導入目的・経緯	(財)畜産環境設備機構が開発した「豚糞尿汚水の効率的メタン発酵と消化液の低コスト浄化処理システム」の実施試験のプラントとして設置された
設備仕様	発電機：30kW
稼働状況	年間 365 日程度、24h / 日 実績製造量 25t / 日 メタン発酵槽及び汚水処理施設として発電機はメタン発生量減の為休止中。 メタンガスは蒸気ボイラー燃料として使用。
経済性関連データ	初期投資額：150,000 千円（国庫補助：80%、県補助：0%、市補助：約 0%、残り自己負担）
導入効果	消化液の処理として COD 除去に課題を残している。当初目標であった電力量削減には至っていない
運営上の課題	機械のメンテナンス、消耗材等ランニングコストを要する
備考	NEDO：バイオマスエネルギー導入ガイドブック 画像 http://www.chushi.maff.go.jp/biomass/jirei/gaiyou/gaiyou-1.htm